

ふる と の



町花：山百合

議会だより

12月定例会 No.142
平成30年1月19日

平成29年度古殿町一般会計第4次補正予算を可決	2
一般質問 次年度の重点事業など7議員が11問	5
追跡レポート：森林認証の取得	13
みんなのページ：福島県猟友会古殿分会	14

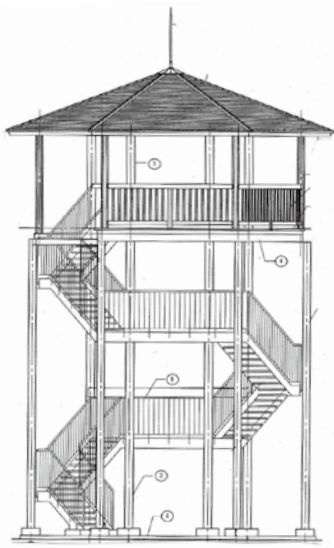


みんなのまえで じょうずにできました! 子ども園生活発表会

第4次補正予算を可決

など 歳入歳出397万円増額

可決した主な条例・予算・人事案件



三株山頂富士見台の設計図

採決

全員賛成

可決

歳入歳出を397万円増額し、総額53億4545万7千円とするもの。主な歳入の内容は、国庫補助金の三株山頂富士見台整備に係る地方創生拠点整備交付金1724万円、町民第1体育館建設に係るスポーツ振興くじ助成金2000万円の増額。歳出は、県営事業の増による中山間地域総合整備事業ふるどの東地区などの負担金1693万9千円が主な増額となっている。

議案
審議

一般会計第4次補正予算

12月定例会は8日から14日まで、7日間の会期で開催されました。第48回衆議院議員総選挙等執行に伴う一般会計第3次補正予算の専決処分をはじめ、議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例、固定資産評価審査委員会委員の人事案件を含む12議案が審議され、原案のとおり可決しました。

議案
審議

古殿町民体育館条例

平成30年2月に竣工予定の町民第1体育館の名称や位置を改めるとともに、冷暖房使用料を1時間2300円に規定するもの。

質疑

Q 使用料の算出の根拠は。

A アリーナと軽運動場にある各エアコンの能力を電料に換算しまして、1時間に2300円を負担していただきます。

Q どういった形で運用するのか。

A 現時点では職員の手操作を想定していますが、詳細は詰めていきたいと考えます。

Q 冷暖房が効くまでの時間の料金も取るのか。

A 冷暖房はすぐに効果が出ないので、運用してから見計らっていきます。

Q 軽運動場しか使わなくても金額は同じか。

A 建物の構造上、一部分のみに冷暖房を効かせることができないので、金額は同じです。

採決

全員賛成

可決

平成29年度一般会計

地方創生拠点整備交付金



**議案
審議**

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

議会議員の期末手当を県人事委員会勧告に準じ、年0・05月分引き上げる改正です。

討論

反対

岡部淳一 議員

町の景況では給与の引き上げに準じる状態になっていないと考えるので、町民の同意を得られないものとして反対します。

賛成

緑川栄一 議員

県人事委員会勧告に準じ、民間企業の支給状況等を踏まえたものであるので賛成します。

採決

賛成 8
反対 3

可決

反対	賛成
岡部 木戸 関根	野崎 藁谷 緑川 鈴木 (一) 佐藤 矢内 鈴木 (昭) 佐川

**議案
審議**

町長等の給与に関する条例

町長の期末手当を県人事委員会勧告に準じ、平成30年度から0・05月分引き上げる改正です。

討論

反対

岡部淳一 議員

町民の同意を得られないものとして反対します。

賛成

緑川栄一 議員

県人事委員会勧告に沿って改正を実施していることから賛成します。

採決

賛成 9
反対 2

可決

反対	賛成
野崎 岡部	藁谷 緑川 鈴木 (一) 佐藤 (昭) 矢内 鈴木 木戸 関根 佐川

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



水野由臣さん
住所 大久田字下大久田
任期 平成32年12月31日

常任委員会の活動

総務常任委員会

町民第1体育館の外観および内観、三株山頂富士見台建築工事現場を視察し、進捗状況を確認しながら意見を交わしました。



工事が進む町民第1体育館の内観



道の駅ふるどでの現状を確認

産業建設常任委員会

町民第1体育館や林業関連施設などの工事現場、道の駅ふるどなどを視察し、状況を確認しました。視察後、現場についての概要説明を受けて、意見交換を行いました。



一般質問は、12月13日に7人の議員が11問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをただす

一般質問

町政を質す

緑川 栄一 議員 6

(1) 平成30年度の主要事業は

野崎 喜彦 議員 7

(1) 学校教育の現況と課題は
(2) 平成29年度の事業検証と30年度の重点施策は

藁谷 直吉 議員 8

(1) 広告料収入による経費削減を図る考えは
(2) 図書館に雑誌スポンサー制度を導入する考えは

佐藤 弘信 議員 9

(1) 奨学金の返納免除の考えは

岡部 淳一 議員 10

(1) 次年度施策の考え方と具体的案件は
(2) 高齢者支援の現状と今後の在り方
(3) 次の項目についての町の考え方(見解)を伺います

佐川 勇司 議員 11

(1) 町活性化の拠点に道の駅構想は

木戸 久康 議員 12

(1) 各事業の検証と町民が喜ぶ行政を



みどりかわ えいいち 議員
緑川 栄一

平成30年度の主要事業は

交流人口の拡大、定住促進に向けた生活環境の整備

町長

岡部町政の4期目も残すところ平成30年度1年となりました。1期目より教育・子育て支援、道路網の整備、町民第1体育館の改築等々、ソフト・ハード両面において均衡ある街の発展に尽力してきたところであります。

そこで平成30年度の主要事業について伺います。
緑川 平成30年度の最重要事業は。

町長 地方創生に向けて交流人口の拡大、定住促進に向けた生活環境の整備などに重点を置いてまいる考えであります。

緑川 雇用創生の具体的な取り組みは。

町長 これまでと同様、企業立地に係る操業助成金等により、町内企業の規模拡大を促すとともに旧論田小学校跡地を活用する事業所の発掘も含めた企業立地の促進に努めてまいりたいと考えております。



旧論田小学校跡地の活用

緑川 人口減少を抑制する具体的な対策および、動態調査等における転出・転入・死亡・出生数は。

町長 これまでも各種施策を展開しており、今後の具体的な対策については現在、検討をしているところです。

住民基本台帳の記録によれば、平成28年度までの過去5年間で、転出831名、転入527名、

死亡462名、出生140名となっており、合計で626名の減となっております。

緑川 町による住宅地の造成計画は。

町長 現時点において具体的な計画には至っておりませんが、未利用となっている町有地の有効活用を考える中で、宅地造成も含め、検討しているところであります。



改修計画があるデイサービスセンター

緑川 デイサービスセンターの改修計画は。

町長 現在、策定を進めている基本構想・基本計画を踏まえ、来年度には実施設計を手掛けてまいりたいと考えております。

緑川 日帰り浴場等の建築計画は。

町長 現在のところ、建築計画はございません。

緑川 ふるさと納税制度の寄付状況は。

町長 ふるさと納税に係る寄付状況は、11月30日現在、合計で53件、165万2千円となっております。





のざき よしひこ 野崎 喜彦 議員

学校教育の現況と課題は

明るいあいさつ、元氣な返事
大きな歌声の指導

教育長

教育の大切さを論じた物語「米百俵の精神」という秘話にもあるように教育は国家形成の根幹をなすものであり、「国家百年の大計」と言われるゆえんがそこにあります。特に子どもの教育は、学力・体育の向上に止まらず「豊かな人間性」の育成を目指す道徳教育や国を愛し、生まれた町に愛着を持てるような子どもたちを育てていくことが強く求められています。

そうした子どもたちが町の将来を担ってくれることを切に願うものであります。
野崎 本町の学校教育の基本理念はどのようなことですか。
教育長 深い郷土愛を育った社会に資する人材育成と、国際化などにも柔軟に対応でき、生涯に渡り学び続ける意欲を育む教育を推進しています。
野崎 特色があり独自の多様性に富んだ教育への具体的な取り組みは。



町の将来を担う元氣な子どもたち

教育長 「明るいあいさつ」「元氣な返事」「大きな歌声」の徹底指導、英語指導助手の配置、2泊3日の英語研修などを行っています。

野崎 小中学校の学力と体育のレベルは。その積極的な取り組みは。

教育長 学力は、小中学校ともおおむね全国平均の水準。体力は、総合評価で上位の児童生徒が多いと思われま。

野崎 「町の伝統や文化を知る」総合学習の時間はどの位ありますか。

教育長 総合学習として20時間から30時間の「ふるさと学習」があります。
野崎 学校と家庭、地域社会との連携を図った教育への取り組みは。

教育長 小学校では、町の特産品調査や米作り体験、福祉施設の訪問をしています。中学校では、林業体験や町内企業での職場体験、中学生議会を通して地方自治を学んでいます。

平成29年度の事業検証と
30年度の重点施策は

移住定住促進補助事業は

現時点での実績はありません

町長

今年度の主な施策に、少子化や人口減少対策への取り組みがなされてきました。その事業の進展・展開は、町の将来像を描くうえで重要な施策のひとつであります。

こうした継続事業と、今年度新たに計画された事業についての検証と、次年度の重点施策等について伺います。

町長 話し合いは継続していますが、結論には至っていません。
野崎 定住化促進事業、子育て支援等の成果はあったのか。今後も継続するの。

野崎 新体育館の運営を民間等に業務委託して、積極的な活用と健全な運営形態を保持すべきと思うが、その考えはありますか。

町長 移住定住促進補助事業は現時点での実績はありません。子育て世帯への支援については、一定の成果があったと捉えており、今後も継続します。
野崎 次年度の重点事業主要な施策は。

町長 従来通りの管理運営方法を考えています。

町長 地方創生に向けて交流人口の拡大、定住促進など生活環境の整備を重点施策とする考えです。

野崎 流鏝馬保存会の諸問題について、この1年の経過と現況は。



わらがや 直吉 議員

広告料収入による経費削減を 図る考えは

慎重に検討します

町長

人口減少の町を元気にするために、町の観光促進により、交流人口を拡大して地名度をアップする必要があります。

また、人口減少などにより、自主財源が減少し

自主財源の収入より人件費が多く支出する状況などから、財源確保と経費削減を図る必要があると思います。

そこで、次の点について伺います。

藁谷 町の観光促進のため、観光パンフレットに

城跡（駒ヶ城、竹貫城）や古殿八幡神社の狛犬など町の名所を掲載する考えは。

町長 今後、検討してまいりたいと考えます。

古殿八幡神社の狛犬は



広報誌や町で使用している封筒

昨年度作成した町の観光ガイドブックで紹介しております。なお、この狛犬は先月、町の有形文化財に登録されたところでもあります。

藁谷 町PRのために「やぶさめくん」のグッズを増やしたり、ご当地ナンバー（オリジナルナンバープレート）を導入する考えは。

町長 「やぶさめくん」グッズについては、缶バッジ、鉛筆、ボールペンなどがあり、イベント等で活用しております。また、原付バイク等へ

のオリジナルナンバープレートの導入については、年間の交付枚数が少ない上に、費用に見合ったPR効果があまり期待できず、現段階での導入の考えはございません。

藁谷 町の観光パンフレット、ホームページ、広報ふるどのおよび町で使用する名刺や封筒、公用車に企業の広告掲載を募集し、広告料収入により経費削減を図る考えは。

町長 広告料収入の確保に向けては、慎重に検討してまいりたいと考えております。

図書館に雑誌スポンサー制度を 導入する考えは

今後の参考にします

町長

来年度は、土日開館を試行することでありますが、現在の状況で土日開館しても、魅力がな

開館するなら、1人でも多くの町民が来館する図書館にしていきたいと思

図書館の充実をはかるために、企業や個人に広告のスポンサーにな

もらい、広告料で図書

また、出生時から本に親しむ環境を構築するべきと思います。

そこで、次の点について伺います。

町長 現在、次年度に予定する図書館の土日開館について内容を検討中であり、スポンサー制度の導入については、図書館の利用状況も踏まえ、今後の参考にしたいと考えております。

藁谷 1歳時、3歳時、小学校入学時などに本をプレゼントし、子育て支援にブックスタート事業を導入し、図書館利用を促進する考えは。

町長 こども園で図書を貸し出し、親子でふれ合いながら絵本に親しむきっかけづくりを行っております。

小学校では図書室を利用した読み聞かせサーク



休日も図書館の賑わいを

の協力による絵本の読み聞かせを行っており、引き続き、このような活動を通じて図書館の利用促進につなげてまいりたいと考えております。

藁谷 購入図書をどのように選書しているのか。

町長 備え付けのリクエスト用紙の提出を通じて要望のあった本や、話題となつている書籍を参考に検討を行い、購入図書を選定しております。

藁谷 購入した図書をどのように管理しているのか。

町長 現在、汎用のソフトウェアを活用し、新着図書の登録を始め、貸出や返却など蔵書の管理を行っております。



さとう ひろのぶ 議員
佐藤 弘信

奨学金の返納免除の考えは

有効だと思われませ

町長

町では、奨学金貸付基金を設置しており、通学資金を含めて有効利用されています。

国では教育費の無料化について議論になっており、給付型奨学金制度も導入されましたが、条件が厳しく限定的でありませ。また、地方就職で奨学金返納免除という新たな取り組みが注目を浴びています。これは地方の人口減少、首都圏への二極集中の改善が重要課題となっている中、地方への若者の定住を促進するこ

とが目的になっています。

この観点から、少子高齢化が進み、町の人口を少しでも維持していくために、町外転出による社会減を抑制する方策として、町に定住すれば町の奨学金の返納額の一部免除、町以外の奨学金であれば免除額と同程度の助成ができないか伺います。

佐藤 町の奨学金制度を利用している人数・金額はいくらとなっているか。

町長 今年度の利用者は15人であり、金額は合計で毎月57万円となつて

おります。

佐藤 奨学金の返済状況はどのようになっているか。

町長 原則どおり卒業後11年以内に返済いただきたいしております。昨年度末現在、償還期限を過ぎたものは14件あり、合計で約300万円となつております。

佐藤 町の奨学金制度を利用して就学した人材が町外に流出することを、どのように捉えているか。

町長 町の奨学金制度は修学困難な生徒を支援し教育の機会均等を図ることを目的としています。奨学金利用者に対して



元気に遊ぶ子どもたち

は町の内外を問わず、広く社会で活躍されることを期待しております。

佐藤 条件付き定住することによる奨学金の返納免除の考え方を伺います。

町長 奨学金の返納免除が直ちに定住への動機づけになるのであれば有効だと思われませ。

佐藤 町以外の奨学金を利用してしている学生もいると思われるが、定住してもらえないならば、助成の対象としても良いと思われるがどう考えるか。

町長 今後の高等教育の無償化に向けた国や県の動向を注視してまいりたいと考えております。

佐藤 町の将来に必要な人材確保に向けた専門分野で就学し、その後、町でその知識を生かしていくという明確な意思表示があれば、人材確保の先行投資ということも考え

られるが、見解を伺います。
町長 前の質問と同様、高等教育の無償化に向けた国や県の動向を注視していきます。



安心して学ぶことができるように



おかべ じゅんいち 議員
岡部 淳一

次年度施策の考え方と具体的案件は

生活環境の整備などに重点を置きます

町にとつての景況がもうひとつ良くなっている中で、平成30年を迎えます。そこで次年度施策と30年代としてつながっていくべき施策について質問します。

町長

町長の答へます。

岡部 道の駅の方向性はどう考えているのか。具体的な話し合いはされているのか。

町長 現在の厳しい経営状況を踏まえ、収益の改善に向けた検討が進められています。

岡部 社協の施設建設と運営方向で、次年度対応と考えているのは何か。

町長 策定を進めている基本構想・計画を踏まえ来年度に実施設計を手がけたいと考えています。

岡部 旧大原小跡地で木材乾燥施設建設が始まりますが、施設の道路改良が欠かせない条件となります。どう対応するのか。

町長 現在のところ、現道をそのまま活用する考えです。

岡部 高校生への通学費助成は実現するのか。

町長 奨学資金として無利子の貸付を行っており、引き続き、こちらを活用していただきたい。

岡部 給食費の無料化を実施するのか。

町長 国の教育費無償化の議論を注視してまいります。

高齢者支援の現状と今後の在り方

新たな日常サービスが期待されるという意見がありました

町長

過疎地域では山間地域の支援に目が向きがちですが、町の中心部においても限界集落とも思える状況が出てきました。高齢化により買い物や医療の問題も出ています。原因のひとつに、免許返還により足とも言える車が使えない問題も発生してきたのです。そこで次の点について伺います。

岡部 生活に関する状況調査、意識調査はいつの

時点で実施したのか。

町長 第8次高齢者福祉計画・第7次介護保険事業計画の策定に向けて、高齢者の日常生活の実態把握のため、一介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を、昨年12月から今年1月にかけて実施しました。

岡部 調査から何が見えたのか。

町長 高齢者の生活状況と心の健康状態、地域

活動や生きがい、助け合いなどの傾向を把握しました。

岡部 買い物や医療における「難民」という言葉は、わが町にも当てはまるか。

町長 へき地バスや福祉バスの運行、医療機関による送迎が行われており一定程度、足の確保はなされていると思います。

岡部 買い物や医療は町内、町外のパターンもあるが、今後の支援策は協議の場に出てきているか。

町長 今年開催した町民の勉強会においては、買い物の代行や手伝い、運転、商品の宅配などの

サービスが今後期待されると意見がありました。

岡部 これらの問題を担当、協議するのはどの部署か。

町長 高齢者の生活支援は生活福祉課の担当です。



高齢者が安心して住める町に

その他の質問

次の項目についての町の考え方（見解）を伺います。

- ・ 風力発電事業に対しての見解は。
- ・ 新エネルギー対策への見解は。
- ・ 所有者が特定できない土地などとの関係で発生する公共的問題に関する見解は。



さがわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

町活性化の拠点に道の駅構想は

将来の道の駅は今後
検討してまいります

町長

おふくろの駅は平成13年に農産物直売所として開設され、9年後の平成22年4月に道の駅となりました。今年で7年が経過し、風評被害を含め大小の波をこえてきたと思います。また、各地では道の駅が自治体の顔となり、来客もそれを期待して、地域のごまごまな特色を求める時代であると思います。

から人が集まり、常に活気あふれる町の核となる場所が道の駅と考えます。農産物直売所オープンから間もなく17年を迎えます。施設の老朽化が進む中、重要幹線である県道いわき石川線整備完了に向けて、今から真剣に道の駅拡張整備の構想を議論し、道の駅を核とした町の活性化を目指し取り組むべきだと思います。そこで伺います。

く影響します。現在、整備が進行中のいわき古殿間の事業完了はいつ頃か。

来場者が行ってみたいと思う特徴ある建築構想の計画と考えは。



改良が進む県道いわき石川線（いわき地内御齊所街道）



耐用年数残り5年の農産物直売所

道の駅機能・直売所・情報発信や休憩スペース・トイレ・イベント広場を確保したら最大どれくらいスペースが必要か。

現在の道の駅の敷地面積は5862㎡である一方、将来の道の駅のあり方については未定であります。

チェンソーアートの干支も毎年素晴らしい作品が完成しています。この作品も多くの来場者に見ていただく展示場が必要だと思います。この件も道の駅計画構想にどう

展示の場所は必要であり、今後、どのような対応が可能か検討します。



きど ひさやす 議員
木戸 久康

各事業の検証と町民が喜ぶ行政を

実情を把握したうえで対応を検討します

町長

木戸 バイオマス（生ごみ）を利用してエネルギーを作る計画は。

町長 平成27年度にバイオガス発電事業の可能性調査を行い検討しましたが、採算を取るのには困難と判断し、事業化は見送っています。

木戸 三株展望台建築費の財源内訳はどうなっていますか。

町長 地方創生拠点整備交付金の交付対象事業に採択され、国から2分の1の補助を受けることと

なりました。

木戸 森林認証への取り組みと、旧大原小跡地の乾燥機の現状は。

町長 森林認証の仕組みに関する研修会を現在、企画しています。

木材のバイオ乾燥機については、今年度現時点で4件、88日の利用がありました。また、町内事業者から新規利用の相談がきています。

木戸 流鏝馬保存会の馬3頭の維持管理は町として

て今後どの様に支援するのか。

町長 流鏝馬保存会と協議してまいります。

木戸 石川消防署古殿分署脇の道路舗装工事はどうなっているのか。

町長 新年度、石川消防署古殿分署の竣工に合わせ実施します。

木戸 町道石畑2号線の舗装工事は、今年度どのような判断で予算計上したのか。

町長 地元の同意が得られたとお話をいただいたことから計上しました。



基礎工事が始まった古殿分署



登校する子どもたち

木戸 新入学児童にランドセルを無償支給する考えはないか。

町長 それぞれの家庭が自ら購入すべきと考えております。

木戸 班長の現状手当をアップすべきと思うがその考えは。

町長 まずは各行政区の実情を把握したいと考えております。

木戸 各区の集会所のトイレ洋式化の改修に助成していただきたいがその考えは。

町長 これまでも要望があったものの、町では助成をしておらず、行政区で対応いただいた経緯もあり、今後、対応を検討してまいります。

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 森林認証の取得

Q 平成27年12月一般質問から

森林認証取得で林業振興を図るべき

A 町長答弁

前向きに検討します



林業の振興を目指して

その後の
対応

平成29年3月14日に認証機関SGEC（エスジック）で町有林の森林認証を受けました。

今後、民有林への認証取得の働きかけ等課題もありますが、町の林業振興に対して期待されるものであります。



森林認証を受けた町有林

*森林認証とは？

独立した第三者機関が環境・経済・社会の側面から一定の基準をもとに、適切な森林経営が行われている森林や経営組織などを認証し、その森林から生産された木材・木材製品にラベルを付けて流通させ、環境保全などに配慮した木材を消費者が選択して購入することで、持続可能な森林経営を支援する取り組みです。



しみもっちー

平成27年の中学生議会で提案されて誕生した「凍み餅」のキャラクター

No.33

今回紹介するのは、「**福島県猟友会古殿分会**」です。

*どのような組織ですか。

本会は現在会員63名で組織されており、銃とワナの両方を登録している会員16名・銃の会員7名・ワナの会員40名です。その中で古殿町鳥獣被害対策実施隊員に任命されているのが24名で、年間を通してカワウ・アオサギ・イノシシの追い払い活動を実施しております。

*年間の捕獲実績および、活動状況は。

平成28年度に捕獲したイノシシは287頭でした。今年度は300頭を超える捕獲実績となりますが、まだまだイノシシの被害は増大しているのが現状であります。そのため、いわき総合射撃場で、イノシシを仕留めるスラッグ弾（1発弾）の訓練を実施するとともに、ワナづくりの講習会を開催するなど、技術向上に全力で取り組んでおります。

*古殿分会からのお願い

現在町の銃保持者が23名で、高齢化が進んでおります。福島県猟友会会員2,666名の平均年齢は、66.3歳となっております。若い会員の増員を図らなければ将来の猟友会の存続が危ぶまれています。若い人に銃の所持許可証を取得していただけるよう、関係各位のご協力をお願いいたします。



会長の本郷正さん



捕獲されたイノシシ



古殿分会のみなさん

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

3月上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ